G need
ジーニード

高耐久 樹脂タイヤチェーン　スノーバイツ

SNOWBITES

取扱説明書

JASAA
(財)日本自動車交通安全用品協会
JASA 432 又は 433
規　格　品

財団法人日本自動車交通安全協会認定
JASAA432・規格品
認定番号：JASA 19-001A

取扱説明書の内容に反して使用、取付けされた場合の事故、破損、離脱等は、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

ご使用になる前に

本製品、高耐久樹脂タイヤチェーン「 ジーニード スノーバイツ 」は、雪道での自動車走行における安全運転補助具です。本取扱説明書に基づき、正しく使用、保管された場合でも、走行路面状況等により、事故、破損、離脱等を引き起こす可能性があります。本取扱説明書では、使用に際しての警告や注意の事柄を記載していますが、本取扱説明書に記載してある事柄に関わらず、十分注意した上で使用し、必ず安全運転走行を心がけて下さい。

はじめに

本取扱説明書は、高耐久樹脂タイヤチェーン「 ジーニード スノーバイツ 」を正しく、安全にご使用頂くための取扱方法を記載したものです。本商品に関わらず、他の類似商品をご使用になられた経験をお持ちの方も、必ず本取扱説明書をお読みになり、ご使用になる前にテスト装着をして下さい。又、本取扱説明書は、大切に保管して下さい。

⚠ 禁止事項

必ず時速 50km/h 以下で走行して下さい。

CHECK!

急発進・急加速・急ブレーキ・急ハンドルなどの操作はさけて下さい。

CHECK!

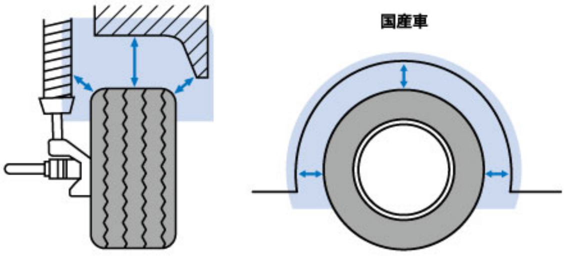
空転（タイヤの空回り）は絶対に行なわないで下さい。

CHECK!

⚠ 取付け前の注意・警告

⚠ 注意 | タイヤと周辺のクリアランスは3㎝以上必要です。

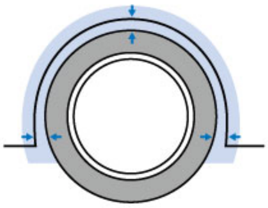
●停車状態で接触していなくても、走行中の遠心力によりチェーンが浮き上がることがあります。必ずタイヤ周辺のクリアランスが3cm以上ある事を確認してから装着して下さい。又、FF車の場合はハンドルを切ることによってもクリアランスが変化しますので、左右いっぱいに切った状態でも再度確認して下さい。



⚠ 注意

特に輸入車、スポーティ車等は路面状況により車体が大きく沈み込んだ際にタイヤチェーンとフェンダーが干渉する可能性が高くなりますので予めご了承下さい。

輸入車（特に欧州車）及び、国産スポーティ車
（タイヤ、フェンダー間が狭い車輌）



⚠ 注意 | タイヤ又はホイールが、チェーンにより 擦れたり 傷が付く事がありますので、予めご了承下さい。

⚠ 注意 | ホイルキャップ付車は必ず外してからチェーンを装着して下さい。

● 走行中にチェーンと接触し、傷が付く事があります。

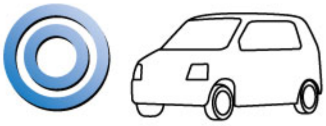
⚠ 注意 | オフロードタイヤには装着できません。

● タイヤの溝が深い為、装着時または走行中に無理な力が掛かり、チェーンが引っ掛かりやすく、早期破損、断裂の原因となります。

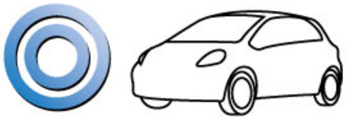
⚠ 警告 | 本製品は乗用車専用チェーンです。

●本製品は乗用車専用です。トラック、商用車（LTタイヤ装着車）、1BOX車（運転席がタイヤの上に位置している車輌）、RV乗用車には使用出来ません。
●車輌重量1.8ｔ以上の車輌は、それ以下の車輌に比べて磨耗が早く進む場合がありますので予めご了承下さい。
※断裂、亀裂、スパイク抜けが発生した場合や、トレッド部が約50%磨耗した場合が使用限度となります。
●FF 車は前輪、FR 車は後輪、4WD 車は前後車輪どちらかの装着となります（お車の取扱説明書にてご確認下さい）。

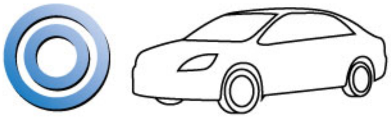
軽乗用車



コンパクトカー

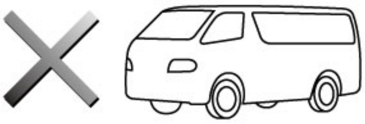


1.8t未満乗用車
（ミニバンを含む）



1.8t以上乗用車
（ミニバンを含む）

1BOX・RV乗用車
（重量が重く、空転し易くチェーン本来の性能が発揮しにくい為）



商用1BOX・バン・トラック
（重量が重く車の走行安定性が著しく低下します。又、LTタイヤに対応しておりません。）

⚠ 警告 | ご使用のお車の取扱説明書をよくお読み下さい。

● 雪道走行及び、チェーン使用時の注意事項は、取付ける車種によって異なりますのでご注意下さい。

⚠ 警告 | タイヤの空気圧はメーカー規定値に設定してから取付け、ご使用下さい。

● チェーン及びタイヤの損傷につながりますので、タイヤの空気圧は規定値に設定してからご使用下さい。

⚠ 警告 | チェーンの装着は駆動輪に取付けます。

● 駆動輪以外のチェーンの装着は、チェーンの効果の減少及び、破損の原因となります。
FF 車は前輪、FR 車は後輪、4WD 車は前後車輪どちらかの装着となります（お車の取扱説明書にてご確認下さい）。

⚠ 警告 | チェーンの取付け・取外し作業は、周囲の安全を確認してから行って下さい。

● チェーンの取付け、取外しは、交通の妨げにならない平坦な場所でエンジンを止めてから行って下さい。
● やむをえず滑りやすい場所でチェーンを着脱する場合は、予め車止めで車体を固定してから作業を行って下さい。

⚠ 警告 | 本製品は通常ラジアルタイヤと、冬用スタッドレスタイヤでは適合品番が異なります。

● ご使用のタイヤの種類をよく確認した上で装着して下さい。

⚠ 使用上の警告

⚠ 警告　タイヤ空転（空まわし）は絶対に避けて下さい（特に上り坂に注意）。

- 空転を行うとチェーンに無理な力が加わる為、チェーンの破損、断裂の原因となります。万が一空転したらアクセルを緩め、ゆっくり操作し直して下さい。

⚠ 警告　急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキは絶対に避けて下さい。

- 急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキ運転を行うと、チェーンに無理な力が加わり、破損、断裂の原因となります。もしこの様な運転操作を行った場合は、安全な場所で停車し、チェーン各部の点検をして下さい。

⚠ 警告　チェーンは消耗品です。

- 正しく使用、保管された場合でも路面状況や走行距離等により、破損、断裂する場合があります。チェーンが破損、断裂した状態で走行を続けると、車体に傷が付いたり重大な事故につながる可能性がありますので、直ちに使用を中止して下さい。又、万一の破損、断裂等に備えて、スペアのチェーンをご購入頂くことを推奨します。

⚠ 警告　必ず時速50㎞/h 以下で走行して下さい。

- 50㎞/h 以上で走行すると、遠心力によりチェーンが除々にタイヤから浮き上がり、車体と接触することにより重大な事故を引き起こす可能性があります。又、チェーンの消耗も激しくなります。
- トンネル内など雪道以外を走行する場合は、その都度チェーンの脱着を行って下さい。

⚠ 警告　1BOX・RV車の装着は禁止です。

- 1BOX・RV車は重量が重く、空転し易くチェーン本来の性能が発揮しにくい為、装着しないで下さい。

⚠ 警告　雪道以外での走行時には、出来る限り速やかにチェーンを取外して下さい。

- 雪のない路面ではお車を安全な場所に停車させ、チェーンを速やかに取外して下さい。そのまま走行されますと、破損、断裂、早期摩耗の原因となります。

⚠ 警告　フック、ゴムバンドの装着が確実であるか確認して下さい。

- チェーンの装着が不完全な場合、事故、破損、離脱等を引き起こす可能性があります。

⚠ 警告　悪路での走行は禁止です。

- 駐車場の輪止めや歩道等への乱暴な乗り上げ、泥、砂利等、オフロードでの走行はしないで下さい。
- チェーンの破損、離脱によってコントロールを失い、事故を引き起こす可能性があります。又、タイヤ面にチェーンが食い込み、タイヤ自体を破損させる可能性があります。

⚠ 警告　走行中に異常音がした場合は、直ちにチェーンの装着状態を確認して下さい。

- 走行中に異常音がした場合は、直ちに安全な場所に停車し、ゴムバンド、内側コネクター、外側フック等、チェーンの装着状態を確認して下さい。

⚠ 警告　タイヤでコネクターやフックを踏まないで下さい。

- チェーン取付け、取外し時に、ゴムバンドフックやコネクター等の金具を踏まない様に注意して下さい。各パーツが破損、断裂する可能性があります。

⚠ 警告　片輪のみの装着・左右異なる種類のチェーン装着はしないで下さい。

- 左右タイヤの回転数やグリップ力が異なり、走行の安定性が低下して大変危険ですのでお止め下さい。

⚠ 走行上の注意

⚠ 注意　前輪か後輪のチェーンの取付けにより、車体の動きが異なります。

- 前輪に装着車両の場合・・・チェーンを装着していない後輪が滑りやすく､下り坂等でブレーキ操作によっては横滑りする危険性があります。
- 後輪に装着車両の場合・・・チェーンを装着していない前輪が滑りやすく､ハンドルの効きが悪くなり､曲がりにくくなる危険性があります。

⚠ 注意　車輌のABSは安全運転走行の為のサポートシステムです。

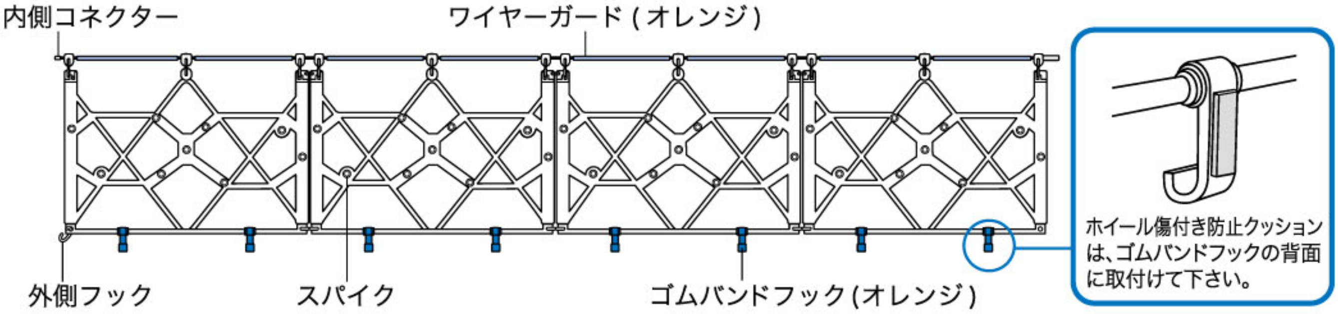
- ABS は制動時に、車体姿勢を安定させる安全運転走行の為の補助装置です。雪道や路面状態が悪い場所での走行は ABS 非装着車に比べ、制動距離が長くなることがありますので、ABSを過信せずに十分注意した上で運転、走行して下さい。

⚠ 注意　駐車時はなるべくサイドブレーキは使用せず、輪止め等で動かない様にして下さい。

- 雪道や路面状態が悪い場所では、凍結によりサイドブレーキが正常に解除できなくなる可能性がありますので、ご注意下さい。

パーツ・各部名称

本体（左右1ペア）

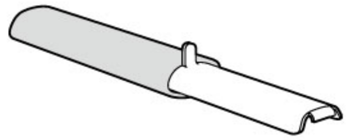


ゴムバンド（4 本）

※片側に 2 本ずつ、合計 4 本使用します。

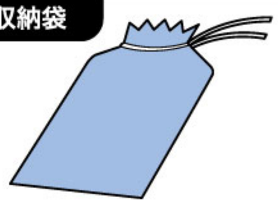
スペアフック(2個)

ハンドフッカー（1 本）

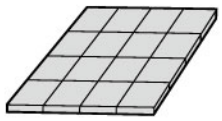


装着グローブ（1 組）

収納袋



ホイール傷付き防止クッション



取扱説明書

※ホイール傷付き防止クッションは、ホイールへの傷つきを軽減するものです。ホイールへの傷が付かない事を保証するものではありません。又、天候や気象条件、走行状態、ホイール形状により、はがれることがありますので予めご了承下さい。

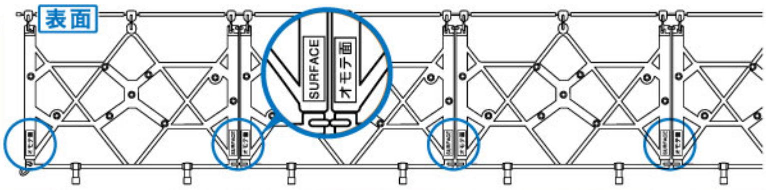
タイヤサイズ適合表

インチ／品番	12		13		14		15		16		17	
	ラジアル	スタッドレス	ラジアル	スタッドレス	ラジアル	スタッドレス	ラジアル	スタッドレス	ラジアル	スタッドレス	ラジアル	スタッドレス
SBT10		145/70-12	155/60-13	145/65-13 155/60-13								
SBT11	145/80-12 165/70-12	145/80-12 155/70-12	135/80-13 155/65-13	135/80-13 155/65-13	155/55-14	155/55-14						
SBT12			145/80-13 165/65-13 175/60-13	145/80-13 165/65-13 175/60-13	155/65-14 165/55-14	165/55-14						
SBT13			155/80-13 165/70-13	155/70-13	165/60-14	155/65-14 165/60-14						
SBT14			175/70-13	165/70-13 175/70-13	165/70-14 165/65-14 175/60-14 185/55-14	165/65-14 175/60-14	175/55-15					
SBT15			165/80-13 175/80-13 185/70-13	165/80-13	175/65-14 185/60-14	165/70-14 175/65-14 185/60-14		165/65-15				
SBT16				175/80-13 185/70-13	165/80-14 175/70-14 185/65-14 195/60-14	175/70-14 185/65-14 195/60-14	175/60-15 185/55-15	175/60-15				
SBT17					185/70-14	165/80-14	175/65-15 185/60-15					
SBT18					175/80-14 195/70-14 195/65-14 205/60-14	185/70-14 195/65-14	185/65-15 195/60-15 195/55-15 205/55-15	175/65-15 185/65-15 185/60-15 195/60-15 195/55-15 205/55-15	175/60-16 185/55-16	175/60-16 185/55-16		
SBT19					185/80-14 205/70-14 215/65-14	175/80-14 185/80-14 195/70-14	175/80-15 195/65-15 205/60-15	175/80-15 195/65-15 205/60-15	195/55-16	195/55-16		
SBT20					195/80-14	205/70-14	195/70-15 205/65-15	215/60-15	195/60-16 205/55-16 215/50-16	195/60-16	215/45-17	215/45-17
SBT21						195/80-14	205/70-15 215/65-15 215/60-15	195/70-15 205/65-15 215/65-15	175/80-16 205/60-16 215/60-16 215/55-16	205/60-16 205/55-16 215/55-16	205/50-17 215/50-17	215/50-17
SBT22							195/80-15 215/70-15	195/80-15 205/70-15	205/65-16 215/65-16 225/55-16	175/80-16 215/60-16 225/55-16		
SBT23								215/70-15	225/60-16	205/65-16 225/60-16	215/55-17 225/50-17	215/55-17 225/50-17
SBT24										215/65-16	215/60-17 225/60-17 225/55-17	215/60-17 225/60-17 225/55-17

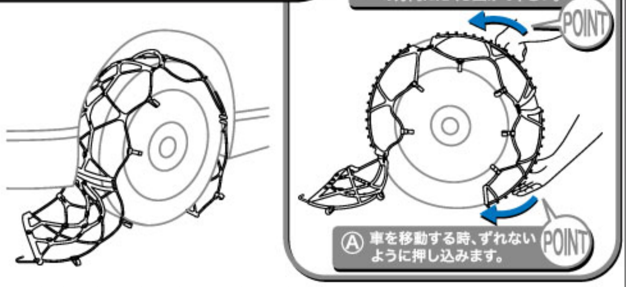
装着方法

※ FF車左前輪への装着例

CHECK! チェーンをタイヤに取付けの際には、右図のように「オモテ面」、「SURFACE」が刻印表記されている面を表面（路面との接地面）にしてタイヤに取付けて下さい。
※チェーンは前後左右共通で使用出来ます。



1. タイヤにかぶせる

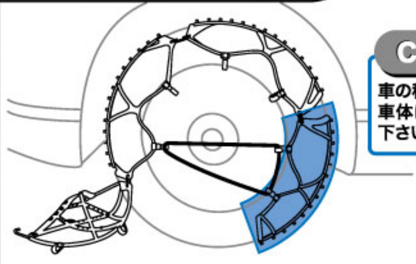


Ⓑ 押し込んだ状態を維持して、矢印の方向にたくし上げて下さい。 POINT

Ⓐ 車を移動する時、ずれないように押し込みます。 POINT

■ 表裏に注意し、ゴムバンドフックを手前側、ワイヤーガード（オレンジ）側を奥にして下さい。

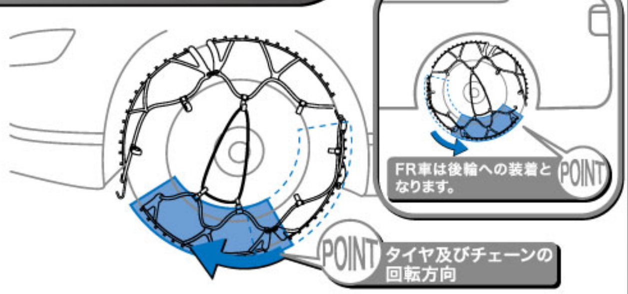
2. 仮止め



Check!
車の移動時にゴムバンドフックが車体にあたらない様に注意して下さい。

■ 3で移動（タイヤの回転）する準備として、図のような位置でゴムバンド1本で仮止めし、チェーンのズレを防止します。その際ゴムバンドフックが車に接触しない様に注意して下さい。

3. 移動（タイヤの回転）



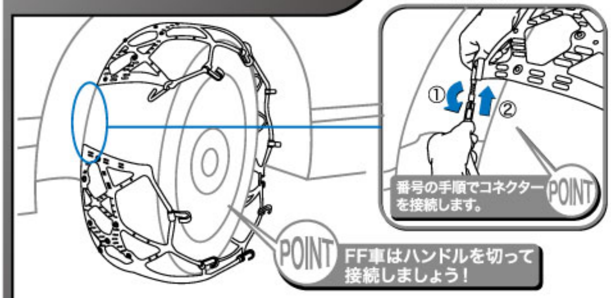
FR車は後輪への装着となります。 POINT

POINT タイヤ及びチェーンの回転方向

■ 図のような位置でタイヤを止めます。止めた後、仮止めをしたゴムバンドを外します（ゴムバンドフックや、金具を踏まないで下さい）。

4. 内側コネクター接続

※ タイヤ内側部分

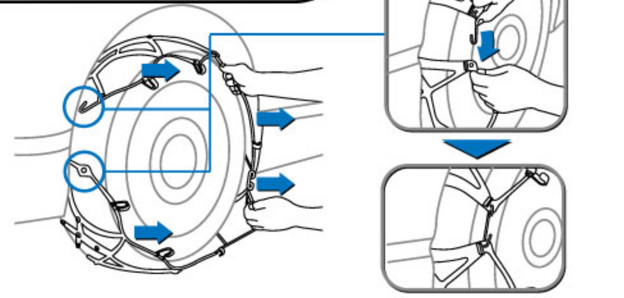


番号の手順でコネクターを接続します。 POINT

POINT FF車はハンドルを切って接続しましょう！

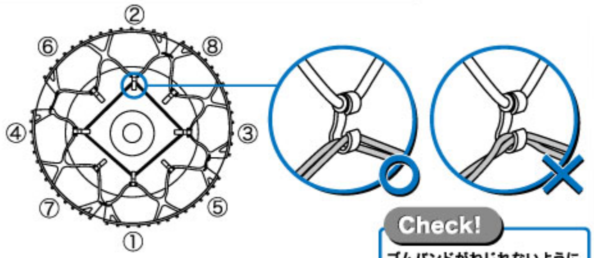
■ 図のように、ワイヤーガード（オレンジ）側のコネクターを接続します。接続しにくい場合はチェーンをタイヤ内側へずらして接続して下さい。

5. 外側フックの接続



■ チェーン全体を十分に手前に引き出してから、図のようにフックを接続します。

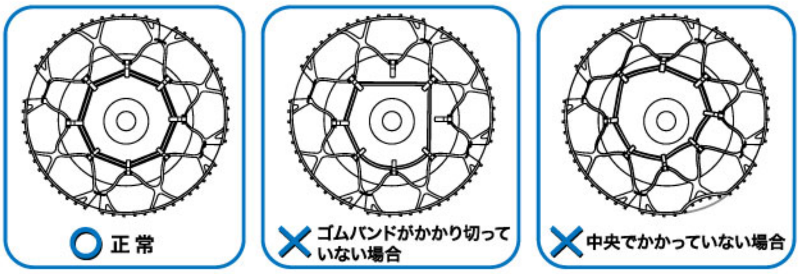
6. ゴムバンドをかける（片側2本）



Check!
ゴムバンドがねじれないように注意して下さい。

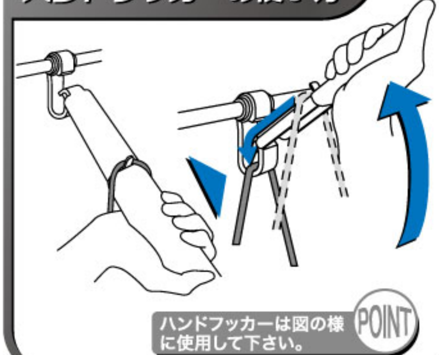
■ハンドフッカーを使い、均一にかけて下さい。
均一に掛ける為に必ず①〜⑧の順でかけて下さい。
※ 片側に必ず2本ずつかけて下さい。

7. 取付け完了



■ ゴムバンドは片側2本ずつ均一にかけて下さい。
走行する事によって上左図のように中央に寄ってきますが、ゆがみ、ズレが直らない場合は 4 からやり直して下さい。

ハンドフッカーの使い方



ハンドフッカーは図の様に使用して下さい。 POINT

取外し方法

※ 取外しに際し、安全に作業を行える場所に停車して下さい。又、他の交通の妨げにならない様に十分ご注意下さい。

①ゴムバンドをすべて取外して下さい。

②外側フックを取外した後、内側コネクターを取外して下さい。
※P5 装着方法 4「内側コネクター接続」のタイヤ位置で行うとスムーズに取外せます。

③チェーンを路面にできるだけ平らに広げ、十分に前後の安全を確認をし、車をゆっくり移動させ、チェーンを取外して下さい。
※ 車の移動時にゴムバンドフックや、コネクター等の金具を踏まない様に、又、車体に当たらない様に注意して下さい。

取外し後のチェック事項

○チェーン本体に破損、断裂、亀裂、スパイク抜けが発生している場合や、トレッド部が約５０％摩耗している場合使用限度ですので、使用を中止して下さい。

○ゴムバンドは、特に劣化、破損しやすい部品です。外見上、劣化、破損が確認できない場合でも、購入後３年が経過した場合は製品品番（SBT○○）をご確認の上、お買上げ店にてご注文下さい。

※ 品番によりゴムバンドの長さが異なります。

○本商品は破損、断裂、亀裂、摩耗、劣化等が外見上確認できない場合や未使用品でも、使用方法、保管方法に関らず、御購入日から5 年ほどでチェーン本体（樹脂成分）の経年劣化により、グリップ力や耐久性など本来の性能が発揮されにくくなります。安全の為、新しいチェーンの購入をお奨め致します。

※ 正しく使用、保管された場合でも、路面状況等により、破損や断裂する場合があります。チェーンが破損、断裂した状態で走行を続けると、車体に傷が付いたり、重大な事故につながる可能性がありますので、直ちに使用を中止して下さい。又、万一の破損、断裂等に備えて、スペアのチェーンをご購入頂くことを推奨します。

保管方法

○チェーン取外し後は、水で洗いよく汚れを落として、十分に乾燥させて下さい。

○完全に乾燥させた後、収納袋に入れ、パッケージ（箱）に収納し、保管して下さい。

○スパイク、コネクター、フック等、金属部分にサビがある場合は、乾いた布や、ブラシ等を使用し、サビを落としてから収納して下さい。

○高温、多湿になる場所での保管は絶対にしないで下さい（サビの進行やチェーン本体の劣化を早めます）。

トラブルシューティング

●チェーン装着時

症　　状	原　　因	対 応 の 仕 方
タイヤチェーンが 上手く取付け出来ない。	適合品番が間違っていませんか？	パッケージの品番シールを確認し、もう一度パッケージ裏面のタイヤサイズ適合表にて適合を再確認して下さい。また、1度目の取付け時はタイヤ形状にチェーンが馴染んでいない為に、キツく感じる事があります。
	タイヤと車体、またはタイヤ周り、サスペンション部品との間隔が狭くないですか？	左記の間隔が 3cm 以上無い場合は取付けが出来ません。万が一、無理に取付けした場合は走行中に車体を傷付ける事があります。またチェーンの破損や離脱を招き、重大な事故につながる可能性がありますで、絶対にお止め下さい。
	チェーンの表裏が逆ではありませんか？	本マニュアルの５ページを参照下さい。表面（オモテ面、SURFACE）の再確認をお願いします。
内側コネクター が接続出来ない。	チェーンにタルみはありませんか？	本マニュアルの５ページを参照下さい。チェーン接地部からコネクター接続箇所方向へ、まんべんなく強く引っ張って下さい。
	チェーンがタイヤの外側気味にかぶっていませんか？	内側コネクター接続の為に、チェーン（接続部）をタイヤ内側方向へ十分に落としこんで、内側コネクター同士の距離を出来るだけ近づけて下さい。
	内側コネクターに雪や泥が詰まっていませんか？	ドライバーや金属ブラシなどで詰まった異物を取り除いて下さい。
外側フックが 接続出来ない。	チェーンがタイヤの内側気味にかぶっていませんか？	内側コネクター接続の際に、内側に落とし込んでいる為、外側フックと接続先のトレッドが離れている事がありますので、外側に強く引き出してから接続して下さい。本マニュアル５ページの５、外側フックの接続を再度ご確認下さい。
	チェーン全体のかぶり方が不均一ではありませんか？	タイヤを回転させて、均一に外側に引き出して下さい。また、1度目の取付け時はタイヤ形状にチェーンが馴染んでいない為にキツく感じ、タイヤサイズによっては多少の力が必要な事があります。

●走行中

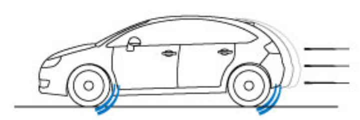
症　　状	原　　因	対 応 の 仕 方
走行中に 異音がする。	適正スピード（50km/h 以下）を超えた走行をしていませんか？	適正スピードで走行して下さい。適正スピード以上で走行されますと、遠心力によりチェーンが膨らみ、タイヤ周りに３ｃｍ以上の間隔があるお車でも異音が発生する事があります。またチェーンの破損や離脱を招き、重大な事故につながる可能性がありますで、絶対にお止め下さい。
	タイヤ周りの間隔が狭くないですか？	左記の間隔が３ｃｍ以上無い場合は取付けが出来ません。万が一、無理に取付けした場合は走行中に車体を傷付ける事があります。またチェーンの破損や離脱を招き、重大な事故につながる可能性がありますので、絶対にお止め下さい。
	サイドバンドが確実に掛かっていますか？	片輪に２本ずつ８ヶ所のフックにゴムバンドを確実に掛けて下さい。１本しか掛かってない、又は全てのフックに掛かりきっていない場合は、走行中の遠心力にてチェーンが容易に膨らみ適性スピード以下でも異音が発生する事があります。
チェーンが ズレる、外れる。	急のつく運転をしていませんか？	本マニュアルの警告、注意事項をよく読んで、適切な運転をして下さい。
	適正スピード（50km/h 以下）を超えた走行をしていませんか？	適正スピードで走行して下さい。適正スピード以上で走行されますと、遠心力によりチェーンが膨らみ、その後のブレーキ時にチェーンが縮んだ際、内側コネクターや外側フックが外れやすくなります。その為にチェーンの離脱を招き、重大な事故につながる可能性がありますで、絶対にお止め下さい。
	荒れた路面の走行、段差の無理な乗り越えをしていませんか？	悪路での走行はしないで下さい。連続的な強い衝撃やタイヤ 一部分に対して強い衝撃が加わった場合、一時的なチェーンの変形によりコネクターやフックが外れてチェーンが離脱する事があります。止むをえず走行する場合は微速（6km/h 以下）で走行して下さい。その後、出来るだけ早く、安全な場所で停車してタイヤチェーンを点検して下さい。異状が発見された場合は使用を中止して下さい。
	装着状態が不十分ではありませんか？	本マニュアル、５ページの通りに再度装着し直して下さい。

※ チェーンが破損、断裂した場合は、直ちに安全な場所に停車し、使用を中止して下さい。

雪道の上手な走り方

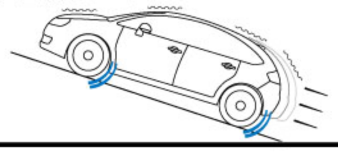
「時速 50km/h 以上の走行」「急発進、急加速、急ブレーキ」「空転（タイヤの空回り）」は全てチェーンの破損、断裂の原因となり、重大な事故につながる可能性がありますので、必ず安全運転、走行を心がけてご使用下さい。

① 発進のコツ



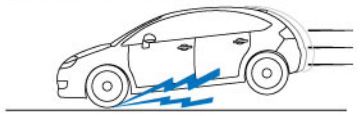
発進の際、上り坂では特に路面の凍結により気付かぬ内にタイヤが空転していることがあります。MT車は半クラッチを長めに、又、AT車はクリーピング（アクセルを踏まずに車体が動き出す状態）を使用すると、空転しづらくなり安全に発進できます。

② 登坂時のコツ



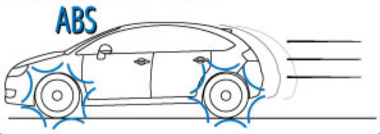
最も空転しやすい上り坂での発進は、①の項と同様にアクセルを踏み込み過ぎないことがポイントになります。タイヤが空転してしまうと、チェーンの性能は発揮されないばかりか、チェーンの破損の原因となります。

③ 減速（ブレーキ）のコツ



チェーンを装着していても、雪道では制動力が低下しますので、通常より車間距離は多めにとって下さい。制動時はエンジンブレーキとペダル操作（ポンピング／踏む→離す）を併用して下さい。FR車は前輪が大変滑りやすい（チェーンを後輪に装着する為）ので、ご注意下さい。

④ ABS装着車の場合



ABS（アンチロックブレーキシステム）は滑りやすい路面でブレーキを踏んだ際にロックがかかるのを防止し、車体及び制動姿勢を安定させる装置です。しかしその分、チェーン装着の有無に関わらず、通常より制動距離が長くなることがありますので車間距離は多めにとってご利用下さい。

⑤ 路面状態が悪い場合

新雪、シャーベット状の路面では、チェーンのスパイク効果が薄れてしまい、大変滑りやすくなります。低速で走行して下さい。

MEMO

Empire Motor Co., Ltd.
本社：〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-23-1

お客様相談窓口 0120（フリーダイヤル） 0120-557770
（土・日・祝を除く 9:00〜17:00迄 ※12:00〜13:00を除く）
MADE IN CHINA （※この製品は日本で企画され中国で生産しております。）